



2026年3月期 第3四半期
決算補足資料

2026年2月9日

株式会社 **GSIクレオス**

Point

売上高および利益のすべての項目で前期同期を上回る。今後の業績動向を踏まえ、業績予想を上方修正。

- ・繊維事業：前期比で増収増益。インナー用機能糸・生地取引が好調を維持。米国向けの生地販売輸出や製品のOEM・ODM取引も引き続き堅調。
- ・工業製品事業：前期比で減収減益。塗料原料や装置関連が業績に寄与するも、半導体関連では、米中輸出規制に加え、一部取引における商流変更が影響。

(百万円)

経営成績	2025年3月期 3Q	2026年3月期 3Q	前年同期比 (金額)	前年同期比 (%)
売上高	119,298	130,704	11,406	9.6
売上総利益	12,583	13,587	1,004	8.0
販売費および一般管理費	9,969	10,831	861	8.6
営業利益	2,613	2,756	143	5.5
営業利益率(%)	2.2%	2.1%	△0.1pt	—
経常利益	2,451	2,959	507	20.7
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,772	2,072	300	17.0

売上高

(百万円)

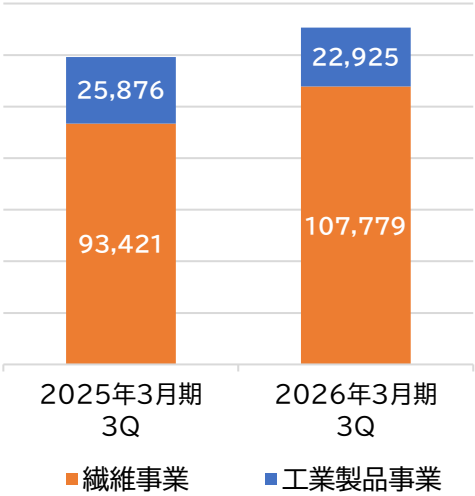
セグメント	2025年3月期 3Q	2026年3月期 3Q	前年同期比 (金額)
繊維事業	93,421	107,779	14,357
工業製品事業	25,876	22,925	△2,950
合計	119,298	130,704	11,406

営業利益

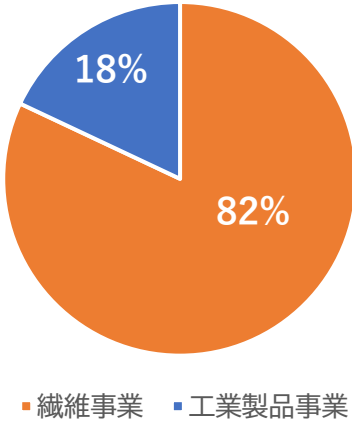
(百万円)

セグメント	2025年3月期 3Q	2026年3月期 3Q	前年同期比 (金額)
繊維事業	1,513	1,907	394
工業製品事業	1,636	1,296	△339
調整額	△536	△447	88
合計	2,613	2,756	143

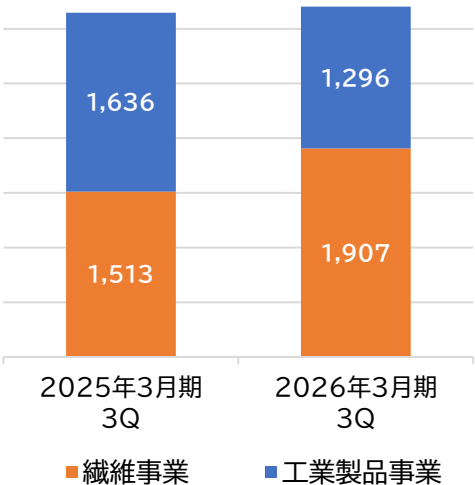
売上高 比較 (百万円)



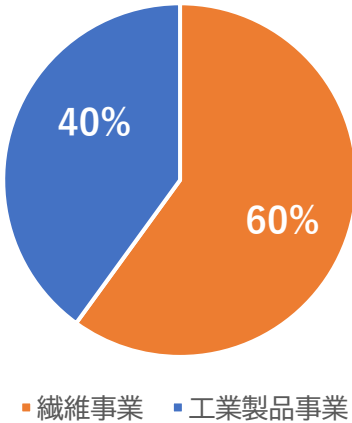
26年3月期3Q 売上高構成比



営業利益 比較 (百万円)



26年3月期3Q 営業利益構成比

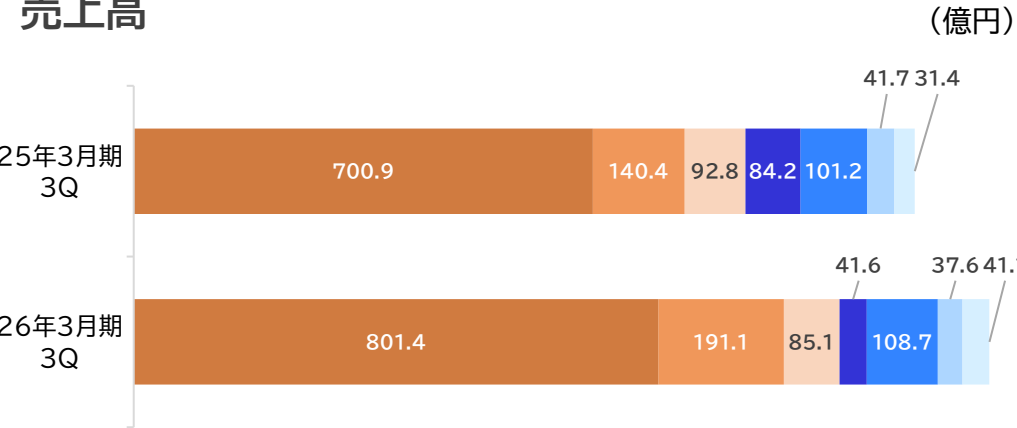


セグメント別業績（前年同期比）

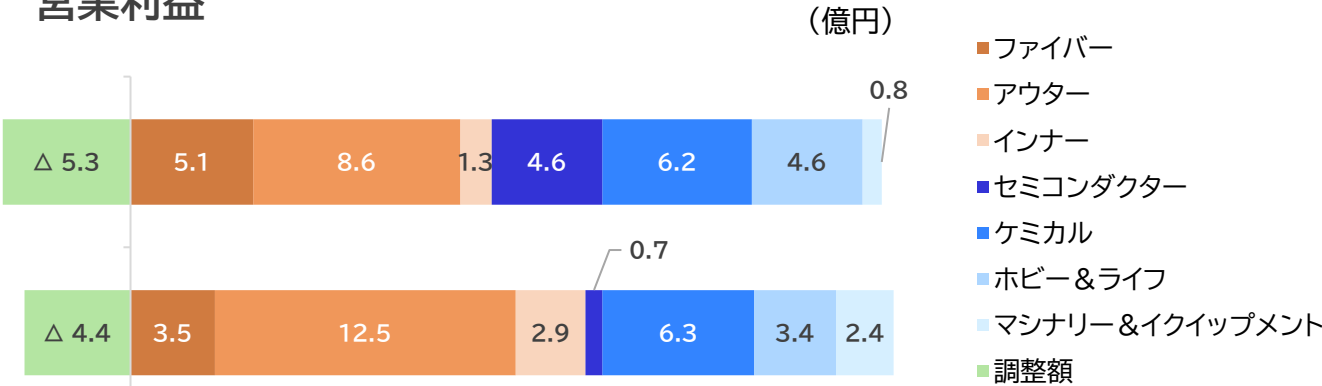
(百万円)

セグメント		売上高			営業利益		
		2025年3月期 3Q	2026年3月期 3Q	前年同期比	2025年3月期 3Q	2026年3月期 3Q	前年同期比
繊維	ファイバー	70,091	80,146	10,055	519	358	△160
	アウター	14,045	19,118	5,073	860	1,254	394
	インナー	9,285	8,513	△771	133	294	160
工業製品	セミコンダクター	8,420	4,169	△4,250	468	71	△397
	ケミカル	10,128	10,872	743	626	633	7
	ホビー&ライフ	4,177	3,769	△408	460	345	△114
	マシナリー&イクイップメント	3,149	4,114	964	81	246	164
調整額		—	—	—	△536	△447	88
合計		119,298	130,704	11,406	2,613	2,756	143

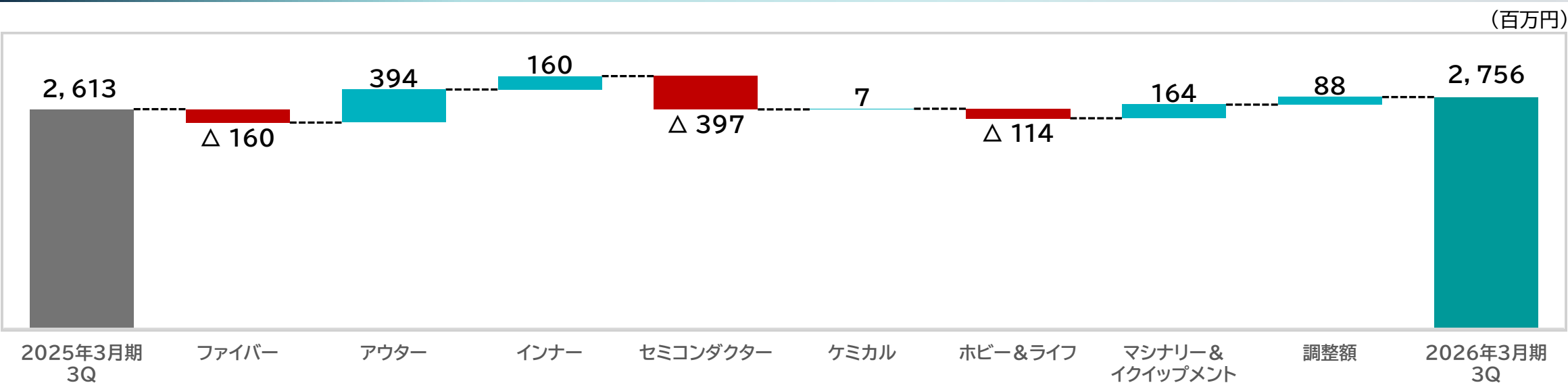
売上高



営業利益



セグメント別業績（前年同期比）営業利益 推移



繊維事業		工業製品事業	
ファイバー	インナー用機能系・生地取引は、最終製品の需要が引き続き好調に推移したものの、第1四半期に計上した特定の取引先に対する貸倒引当金繰入額が影響。	セミコンダクター	中国製ウェハ取引は引き続き堅調であるものの、米国による対中半導体輸出規制の継続に加え、一部取引における商流変更の影響を受ける。
アウター	米国向けの生地輸出販売、製品のOEM・ODM取引が引き続き堅調。不採算事業からの撤退やトリアセート繊維事業の稼働が進展したことなどから収益が向上。	ケミカル	塗料原料や機能性樹脂の取引において、国内外ともに需要が堅調に推移。
インナー	高機能素材や自然由来の機能性インナーの需要は堅調に推移。ランジェリーなど一部製品分野において取引が減少したが、原料価格の高騰への対応により原価改善が進む。	ホビー＆ライフ	化粧品原料の取引は、主要基材の価格改定により益率改善。一方、ホビー関連の取引は中国向けが堅調に推移するも、国内および欧米市場での需要が低調に推移。
		マシナリー＆イクイップメント	理化学関連装置の取引は低調に推移したものの、複合材関連装置の大型案件や産業機械の販売が業績に寄与。

Point

- 【総資産】 売上債権の増加などにより増加。
- 【負債】 仕入債務の増加などにより増加。
- 【純資産】 親会社株主に帰属する四半期純利益による株主資本の増加やその他有価証券評価差額金の増加などにより増加。

(百万円)

財政状態	前期末 (2025年3月末)	26年3月期 3Q末 (2025年12月末)	前期末比
総資産	79,965	83,672	3,706
負債 (ネット有利子負債)	49,879 5,486	52,124 3,719	2,245 △1,766
純資産	30,086	31,548	1,461
自己資本	30,086	31,548	1,461
自己資本比率	37.6	37.7	0.1pt

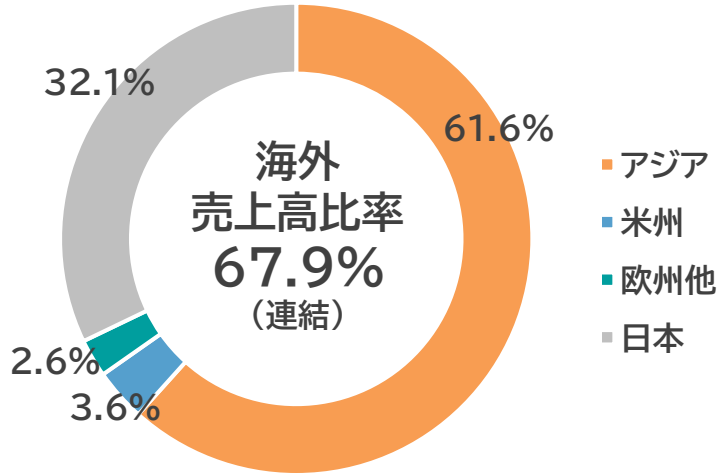
Point

前年同期比で全体の海外売上額は増加し、海外売上高比率は65%を超える。
➡米州は半導体事業の一部商流変更による影響を受けるものの、アジア地域のインナー用機能系・生地取引が伸長。

(百万円)

項 目	25年3月期 3Q		26年3月期 3Q		前年同期比	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)
アジア	69,257	58.1	80,513	61.6	11,255	3.5
米州	9,149	7.7	4,769	3.6	△4,379	△4.1
欧州他	4,266	3.6	3,432	2.6	△834	△1.0
海外売上高	82,673	69.3	88,715	67.9	6,041	△1.4

26年3月期 3Q 地域別売上高構成比

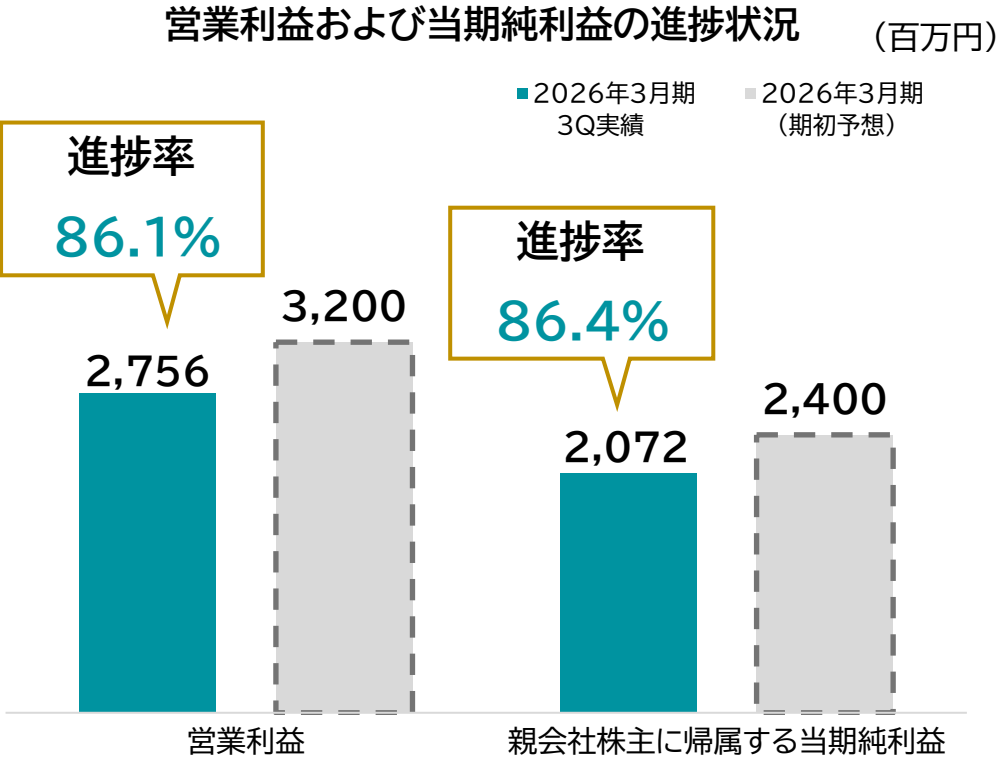


アジア:主に中国、香港 米州:主にアメリカ、ブラジル

Point

期初(2025年5月15日)公表の業績予想に対して、すべての項目で標準進捗率を上回り順調に推移。

(百万円)			
経営成績	2026年3月期 期初予想	2026年3月期 3Q実績	進捗率 (標準:75%)
売上高	166,000	130,704	78.7%
営業利益	<u>3,200</u>	<u>2,756</u>	<u>86.1%</u>
経常利益	3,200	2,959	92.5%
親会社株主に 帰属する当期純利益	<u>2,400</u>	<u>2,072</u>	<u>86.4%</u>



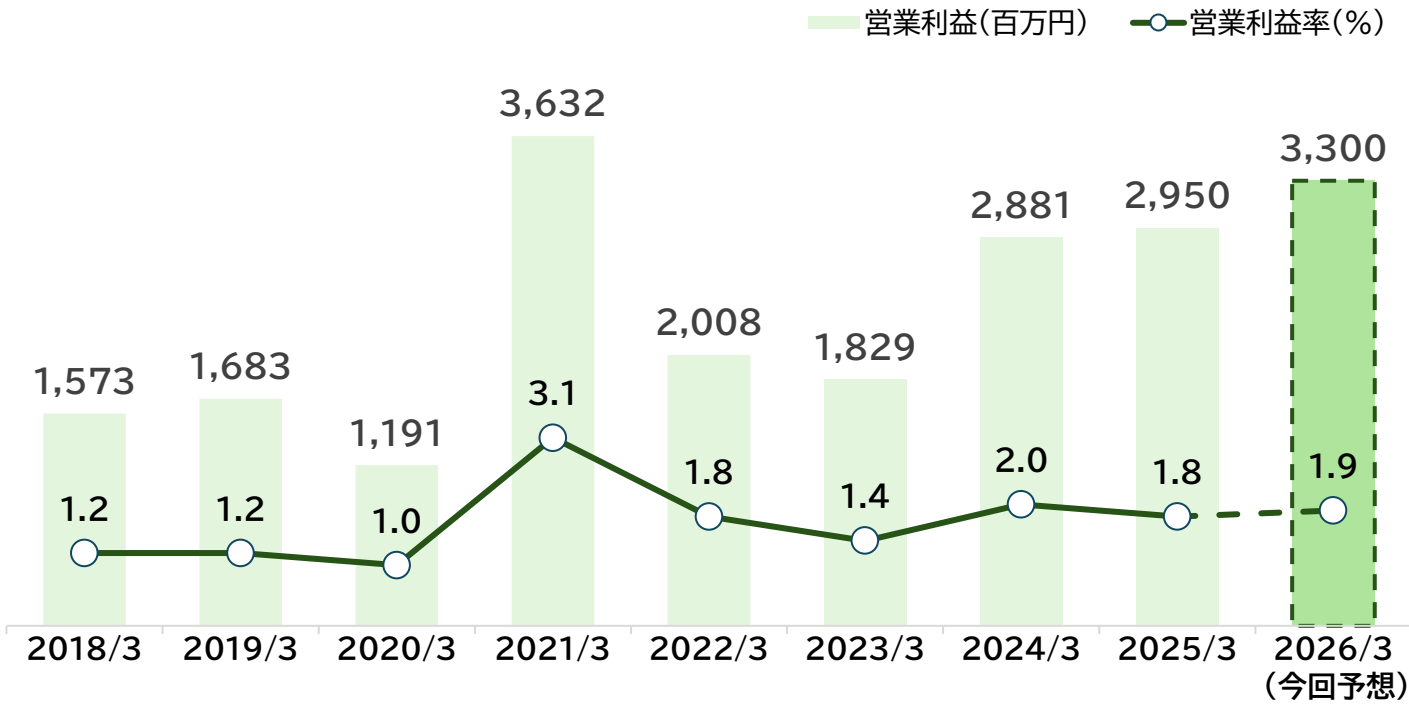
Point

期初(2025年5月15日)公表の業績予想を今後の業績動向を踏まえて上方修正。
➡詳細は2026年2月9日公表の「業績予想および配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご確認ください。

(百万円)

経営成績	26年3月期 期初予想	26年3月期 今回予想
売上高	166,000	172,000
営業利益	3,200	3,300
経常利益	3,200	3,400
親会社株主に 帰属する当期 純利益	2,400	2,500

営業利益および営業利益率の推移



株主還元【2026年3月期 配当予想修正(増配)および自己株式の取得決議】

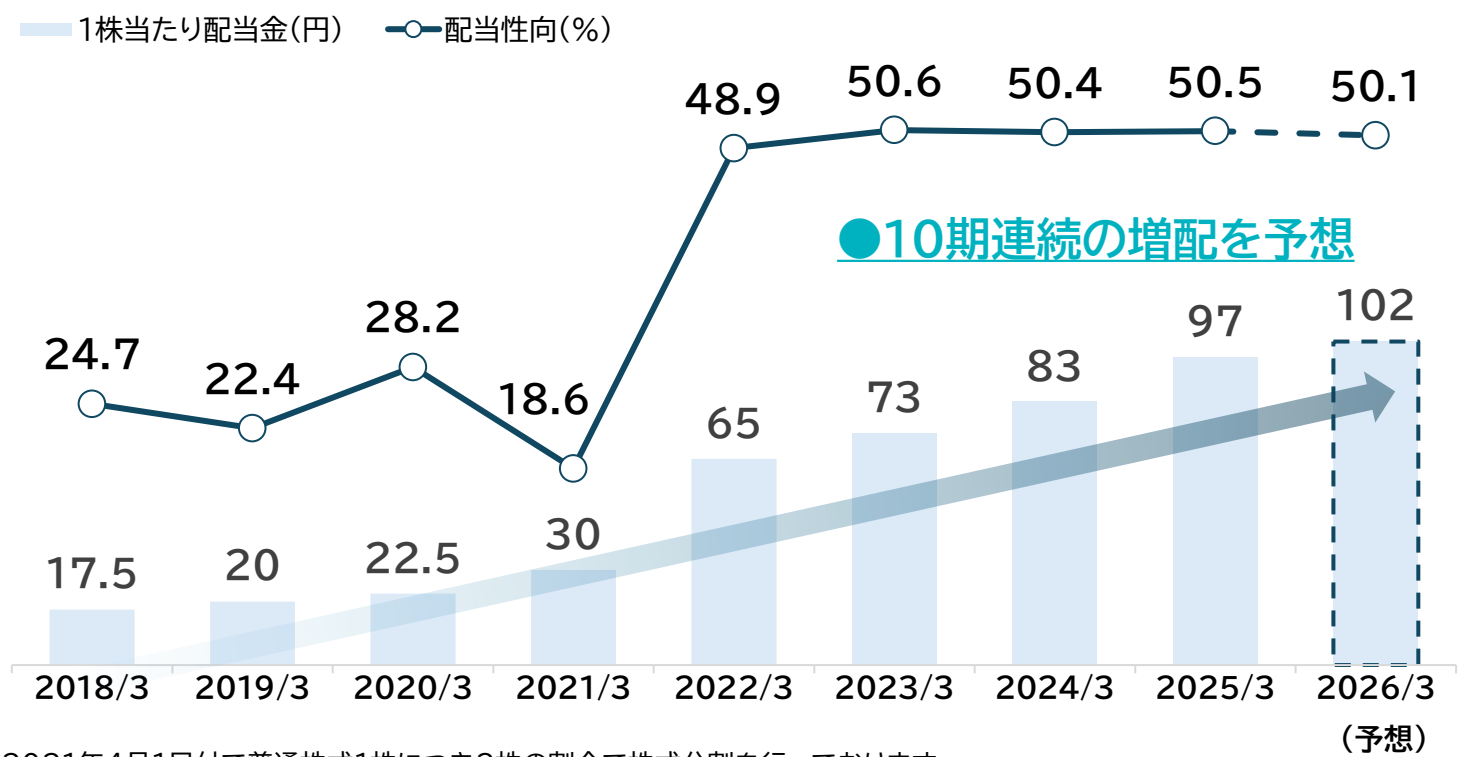
GSI Creos

Point

年間(期末)配当金： 今期の業績予想を踏まえ、前回予想比で2.0円、前期実績比で5.0円増配となる102.0円に修正。
自己株式の取得： 7億円を上限とする自己株式の取得を決議。

項目	2026年3月期 予想
1株当たり配当金	102.0円
配当性向	50.1%

1株当たり配当金および配当性向の推移



※2021年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。
1株当たり配当金につきましては、2018/3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

“GSI CONNECT Phase2” 株主還元方針

- 配当性向 50%以上を維持
- 累進配当 1株当たり下限100円
- 機動的な自己株式の取得

パーパス

次代の生活品質を高める
事業の創造者として
人びとの幸せを実現する



本資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。

銘柄の選択、投資に関する最終決定はご自身の判断でなさるようお願いいたします。

また、本資料は信頼できると思われる情報にもとづいて作成したのですが、その正確性、完全性を保証したものではありません。